

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		地域生活支援事業費[訪問入浴サービス事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 4	障害者福祉費	事業番号	6	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	障害福祉		課	障害福祉		係	課長名	大法 努	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進						総合計画書 (ページ)	55		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）					
	①身体障害者手帳2級以上の者 ②愛の手帳2度以上の者 ③前2号のほか、市長が必要であると認める者			①身体障害者手帳所持者（1～2級） 手帳所持者のうち特に重度の者を対象指標とする。 → ②愛の手帳所持者（1～2度） 手帳所持者のうち特に重度の者を対象指標とする。					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）					
	・入浴の困難な在宅の障害者の入浴の機会を保障して、 地域で安心して生活を送ることができるようにする。			利用者数／重度障害者数					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）					
	・入浴の困難な在宅の障害者に対し、週1回入浴巡回車を派遣し、組立式浴槽による入浴介助を行う。			利用者数 10 人					
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	1,564	1,542	1,510			
	成果指標	②の数値	%	1.2	0.6	0.6			
	目 標	②の目標値							
		目標値設定の考え方 対象者が適正に利用できるよう事業を執行する。申請に対して適正に利用させる事業であることから、「目標値」の設定についてはなじまない。							
活動指標	③の数値	人	18	10	10				
3 経費	事業費（実績）		円	5,855,512	5,431,200	5,108,400	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	3,020,512	2,777,200	2,388,400			
		特定財源	円	2,835,000	2,654,000	2,720,000			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	412,200	415,500	419,000			
職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	6,267,712	5,846,700	5,527,400				
4 環境変化等	(1) 開始年度		S59 年度						
	(2) 環境の変化		・平成18年に障害者自立支援法が施行され、市町村事業である地域生活支援事業に位置づけられた。原則、国1/2、都1/4の補助。 ・26市中24市で実施。						

事業名称	地域生活支援事業費[訪問入浴サービス事業]			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・利用者は微増傾向。在宅の最重度障害者の生活支援の重要な施策のひとつである。 ・介護保険制度でも同様のサービス（介護保険の対象者は介護サービスに移行する。）があり、利用者は事業所との契約により一部負担をして利用している。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	特になし			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 障害者福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 事業を現状通り運営していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			